

庄内川堤防道路検討会(第2回) 議事概要

庄内川堤防道路検討会(第2回)を平成18年11月14日に開催し、堤防道路の課題について構造と利用の面から実態を説明した。各委員から、治水、利用、環境等を踏まえ、道路と河川それぞれの立場として将来的にどうしていくかの共通の視点を持つことが必要である等の意見が出され、下記事項を確認した。

記

1. 堤防道路のあり方を考えるためには、安全や街づくりの観点において、道路交通、河川敷緑地の位置付けやこれからの利用のあり方を議論しておく必要がある。
2. 次回検討会の議論のために以下の内容について説明すること。
 - ・道路、河川が目指そうとする視点
 - ・堤防道路の道路交通におけるこれからの車と人との関係
 - ・人身交通事故の実態
 - ・交通荷重が堤防盛土に与える影響
 - ・都市における河川敷緑地の緑のネットワークの位置付け
3. 出水時における通行規制に向けた関係機関の調整状況について確認した。水防活動の必要性等の目的を明確にしながら引き続き検討を進めること。